



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail:lets@some.jp

平成29年5月

# うるわし通信

## 住民の住民による住民のためのまちづくり

今まで、「まちづくり」と言えば、市役所が主導して審議会などに各界の代表や専門家や町の長老さんたちが集まって計画を作り、住民に賛成してもらって進められてきました。しかし、人口減少や少子高齢化により人々のライフスタイルが大きく変わってきたため、市民ニーズが多様化し、地域の課題も複雑になり、これまでの仕組みでは限界があります。

そこで、平成14年の都市計画法改正により、土地所有者やまちづくりNPO等が、一定の要件を満たせば地区計画等を提案できる都市計画提案制度が創設されました。これからの持続可能な「まちづくり」に対応するには市民提案型そして実行型の「まちづくり」が求められています。その地域で生活する住民、商売を営む事業者・NPO団体等、地域社会を構成する多様な主体がみんなでまちの将来像を描きその実現に向けて取り組んで、自分たちが暮らし続けていくことのできるまちを創っていかうとする行動が必要です。

私たちの桜井市においても、平成28年6月に地元有志・各種団体・金融機関等の出資により「桜井まちづくり会社」が設立され、市民提案型・行動型の「まちづくり」が進められおり、今回はその活動の一部を紹介します。

桜井市空き家対策総合支援事業の第一弾として、4月13日に桜井駅南口の本町通り3丁目で長年空き家となっていた店舗が、大阪工業大学建築学科の学生の設計提案により修景され、国・市からの補助金と合わせて約2500万円を活用した、コミュニティカフェ「櫻町（さくらまち）珈琲店」がオープンしました。落ち着いた暖か味のある店舗に改修され、地域の憩いの場として賑わっています。



「櫻町(さくらまち)珈琲店」  
電話番号 0744-48-3908  
営業時間 7:30~19:00 水曜日休業

桜井まちづくり会社の小西宗日出社長によると、「地域活性化の第一歩、この場所は、桜井の中心地であり、古くから高札が立つ札の辻と称され、人々が集まる要所として商業が発展し、昭和40年代には、奈良県の3大商店街にも数えられていました。4年前には、アーケードが撤去され、空き店舗も増えてきましたが、これからは、官民一体となって、新しいまちづくりをもって、活性化を進めて行きたい、たくさんの人が集まる場所になるよう、ぜひ皆さんにもお力添えを頂きたい」と語っておられます。



改築中の旧京都相互銀行跡

尚、同社は来春に同本町通り2丁目にある旧京都相互銀行跡の空き店舗を活用したレストランや、駅前通りで一棟貸スタイルの町宿をオープンさせる計画もあり、地域の個性を活かした市民提案型まちづくりが動き出しています。あなたも一緒に始めませんか。 (ひがし 俊克)

## 平成29年度 うるわしの桜井をつくる会からの情報発信 ～記紀万葉プロジェクト事業を軸に～

奈良県は平成24年～平成32年にかけて、「本物の古代との出会い」、「本物の奈良を実現していく取り組み」を基本理念として、「記紀万葉プロジェクト基本構想」を策定しました。

### ●桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会の発足と記紀万葉原書展の開催

桜井市でも、桜井市、桜井市観光協会、うるわしの桜井をつくる会の三者が集まり、官民一体となった協働の大きなテーマとしてとらえ、平成24年5月23日に設立総会を持ち、「桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会」（以後、「記紀万葉P」という）が発足しました。

「記紀万葉P」が、最初に取り組んだテーマは桜井市が保管する万葉歌碑の原書展示でした。「記紀万葉P」と奈良21世紀フォーラムが実行委員会を立ち上げ、

「桜井記紀万葉歌碑原書展～昭和の文人が愛した神なびの郷」をあべのハルカス近鉄本店で開催（H26）。以後、飛鳥の万葉文化館（H27）、地元桜井市立図書館（H28）と連続で開催。

うるわしの桜井をつくる会もプロジェクトの中心団体として積極的に取り組み、桜井の歴史を全国に発信し、大きな成果をあげました。記紀万葉プロジェクトも残り4年となり、今後は記紀万葉に関連のある近隣自治体にも呼びかけ、広域連合での事業展開も検討されています。

以下うるわしの会としても予定する取組みを紹介します。



桜井記紀万葉歌碑原書展テープカット式  
桜井市立図書館

### ●第32回国民文化祭、第17回全国障害者芸術・文化際なら大会

9月1日（金）～11月30日（木）に県内全域で開催されます。桜井市でも「芸能発祥の地桜井～シンポジウムと宝生流の能公演～」（9/9）、「桜井市子ども短歌大会」（10/15）、山の辺点描～記紀万葉の香りと日本の原風景を訪ねる～」が計画され、本会も実行委員会へ参画の予定です。

### ●聖徳太子プロジェクト推進協議会の立ち上げ

奈良県と桜井市を含む県内20市町村(太子ゆかりの地)で平成28年7月22日に立ち上げました。没後1400年を迎える2021年（H33）に向けて、イベントによる情報発信と聖徳太子関連歴史文化資源の活用につながる取り組みをしていきます。桜井市には下記の遺跡があります。

1. 上之宮遺跡 聖徳太子が幼青年期を過ごし、推古天皇から委ねられた政務に取り組んだといわれています。

2. 土舞台 我が国初の「国立劇場」、百済の味摩之(みまし)が推古20年（612年）に伎楽の舞を我が国に伝え、聖徳太子が子供たちに教えるために土舞台をつくったと伝えられています。

### ●うるわしの桜井をつくる会 平成29年度の事業として

①「記紀万葉P」には当会から下記2点の提起をし、具体化を進めます。

1. 子ども歴史学習会(桜井市観光ボランティアの会と共同提案)

小学校6年生を対象に桜井校区11校に働きかけ、万葉歌碑や歴史遺産の確認をする。

2. キッズガイドの調査研究

歴史学習を受けた子供たちによる観光ガイドの育成。今年度は先進地の調査・研究の実施。

②当会には教育、福祉、広報、景観、歴史、観光、文化、産廃、エルト部会があります。

「記紀万葉P」や奈良県が推進する事業参加はもとより、会員の皆様方からの積極的な提案をお願いします。

(高瀬 安男)

## シリーズ活動紹介～地元そしてご近所の取り組み～

うるわし通信では、会員の皆さんから投稿をお願いして、地元の取り組みや近隣地域を含むご近所の活動について、注目したいことや今後の活動の参考になる取り組みを紹介していきたいと思います。これまでも、大和桜井万葉まつりや屋台村マクアケ（MAKUAKE）マーケットなどを紹介してきましたが、今回は編集子の楠木が現地を訪ね報告します。

「やどかり市」というイベントが、お隣の田原本町で4月23日（日）に行われました。何故？やどかり？変わった名前だな～と思った次第です。このイベントを知ったのは、市立図書館でポスターを見たからで、当日、現地でその名前の訳を聞くと、空き店舗に売り場を設けたことから「やどかり」と名付け、今回で5年目を迎え、新規出店が少しずつ増える効果があり、今年は春と秋（11月3日）の年2回開催するとのこと。各所にやどかり市カラーのタペストリーやポスターが掲げられ、そしてエプロンまでも同色で作られていて、力が入っている印象を強く受けました。

主催は、田原本町地域公共交通活性化協議会というやや硬い名前でした。また、事務局は、町役場の観光・まちづくり推進課が担当されています。田原本駅周辺の17店舗に加え、空き店舗や駐車場などを利用して飲食や雑貨を扱う約50店が出店。高校生（県立御所実業高校の生徒が作成したドクターイエローのミニ新幹線の乗車体験や県立奈良朱雀高校によるポップコーンの実演販売）や大学生も参加し、黒滝村や川上村の特産・名産品の販売もされ、多くの人々で賑わっていました。



桃太郎の像



チンドン屋で賑わう店



町並み散策



寺内町のスタンプラリー



駅前観光案内所



広場での乗車体験



庭を借りて出店

## 事務局だより

●常任理事会は6月3日(土)午後6時より、まほろばセンター研修室で行います。

●平成29年度うるわしの桜井をつくる会定時総会

日時 6月18日(日)午後1時より

場所 桜井市立図書館第1研修室

内容 1. 平成29年度総会

28年度事業報告・28年度決算報告・監査報告・29年度事業計画案・29年度予算案

2. 公開イベント ～狂言公演～

狂言「福の神」他 小謡(コウタイ)体験

石原昌和 氏 (NPO法人奈良能理事長)

能楽の発祥と伝承 浅川肇 氏(うるわしの桜井をつくる会)

：総会終了後に同会場にて開催しますので、会員以外の方の参加も歓迎します。



石原昌和氏

## お知らせ

●子どもの貧困にどう取り組むか (県政出前講座)

日時 5月12日(金)午後1時30分～3時

場所 まほろばセンター研修室(JR・近鉄桜井駅南口)

内容 子どもの貧困 奈良県支援計画を具体化するために

桜井市においても、貧困対策を視野に入れながらも、子ども食堂などそれだけに止まらない子どもの居場所づくりが取り組まれています。また、「陽だまり」という子育て支援活動が本格的に動き出しています。この度、県政出前講座で、県の計画を中心にして学習会を下記の通り開催いたします。ご参加ください。

講師 梅野正和 氏 (奈良県 健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課 家庭福祉係長)

主催 うるわしの桜井をつくる会

問合せ先 楠木(くすき)克弘 TEL:090-3284-0405

●図書館友の会

5月の読書会は、「技巧的生活」吉行淳之介／著を読みます。

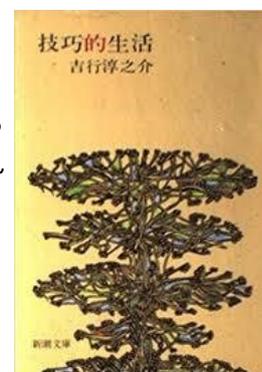
恋に酔う少女であった葉子は、酒場に勤めてゆみ子と名を変えた時から変貌しはじめた。男を商品として、あたかも無機物であるかのごとく見ようとする酒場の女たちの、言わば技巧的な生き方。

日時 5月22日(火)午後1時30分から

場所 まほろばセンター市民活動交流拠点

問い合わせ先 浅川 肇 TEL:090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



【編集後記】 大宇陀を舞台に、桜井も記載されていると知人に紹介され、久しぶりに高村薫の小説を読んだ。『土の記』上・下2巻(新潮社)。音羽山の反対側の田舎の日常生活が高村流に記述されているが、現代社会の危機の様相が綴られていく。お薦めの一読。また、NHKのEテレで、毎月末の日曜日に「やまと尼寺 精進日記」のタイトルで音羽山観音寺の紹介が今後1年間続けて行われる、再放送もあり。(K・K)

うるわし通信発行人  
高瀬 安男  
TEL:090-1678-9157